

おおくぼ

“だいすき ♥ おおくぼしょうがっこう、
学校だより 平成30年6月1日 佐藤 正実

“だいすき 大久保小学校 みんな輝いて、校長の佐藤正実です。今日は「命を見つめる日」命の大切さについて学ぶ大事な日です。

ずっと前、大久保小学校の6年生と2年生が亡くなりました。

6年生のさとみさんは、14年前の今日、亡くなりました。さとみさんは、ランドセルの中に、家族で旅行に行ったときの写真を入れていました。亡くなったお母様のお写真を、とても大事にしていたそうです。

2年生のゆうかさんは、11年前に亡くなりました。ゆうかさんは学校に行くことが好きでした。折り紙が得意で、みんなから「折り紙先生」と呼ばれていました。

今日はお二人の大切な命に想いを巡らし、お祈りをする日です。

さて、みなさん、命とは、いったいどんなもの、どんなことなのでしょう。この方のお名前は、日野原重明さんです。昨年7月、105歳で、お亡くなりになるまで、お医者さんをされてきました。日野原先生が、私たちに残された言葉です。

『いのちとは そのひとにあたえられたじかんのことです』

『命には自分の時間と、人のために使う時間があります』

『人に使う時間を多くしましょう』

『そうすれば、周りの人が幸せになります』

『幸せな人は、笑顔がきらきらと輝いています』

大久保小学校を、子どもたちの笑顔がきらきらと輝く学校にしたい。それは、ここにいる全ての人が、心から願うことです。



始業式の日、私がみなさんに送ったメッセージです。

「いじめをなくそう。ことばってだいじだよ」

ふわふわことばをつかって、あなたの優しい気持ちを伝えましょう。言葉には、私たちの心を、私たちの命を、支える力があります。毎日つかう話し言葉、書く言葉を大事にしましょう。そして、いじめのない学校をつくりましょう。

「心をつなごう。あいさつってだいじだよ」

「おはようございます」「げんき?」「いっしょにあそぼう」「また、あしたね」挨拶を交わせば、心と心がつながります。心と心がつながれば、生きる力がわいてきます。人を思う心、キーワードは「思いやり」です。すすんであいさつをして、心と心をつなぎ合わせましょう。

まとめをします。みなさん ここを見てください。「みんな輝いて」と書いてあります。

大久保小学校の子どもたちに、きらきらと輝いてほしい。それが、先生、お家の人、地域の方々、たくさんの方々未来を生きるあなた方に伝えたい思いです。

会場のみなさん、心をひとつにして、力を合わせて、いじめのない学校を、あいさついっぱい学校を、そしてお互いの命を大切にする学校をつくりましょう。

一人一人が自分の命と友だちの命を大切にする人になることを願って私のお話とします。

※以上、「30.6.1 いのちを見つめる集会」校長講話の全文です。